

資料 1

ジャパンブランド「健康長寿」推進事業 ～“SAKU Health care model”の構築・展開を目指して～

基本的な考え方	事業区分	事業内容	H28	H28	H29	H30～
I 健康長寿社会の実現 人口減少克服、地方創生を実現するため、地域の強みである「健康長寿」を国内外に発信・展開できるブランドとして確立する。 また、将来にわたり健康長寿の地域であり続けるため、各種調査結果に基づく地域の強みの増進と地域の弱みの補填の取組をライフステージに応じて展開するなど、全国的なモデルにもなる健康づくり活動を推進し、コミュニティの創生と健康寿命の延伸を図る。	① 健康長寿ブランド構築事業 健康長寿ブランド推進体制確立 魅力ある健康長寿ブランド確立	<ul style="list-style-type: none"> ・産官学医連携による「佐久健康長寿プロジェクト推進会議」の開催 ・「健康長寿」の魅力、要因、今後の活用等に関する調査 ・市民向け健康づくり啓発映像制作 	○	○	○→	
	② ライフステージに応じた健康づくり事業 今後も健康長寿ブランドを支え、高めていくための、ライフステージに応じた健康づくり ・子育て支援メニューの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・幼少期からの健康づくり・子育てを支える人材の確保・育成 ・幼少期からの健康づくりの必要性の啓発 ・幼少期からの健康づくりや子育てを支援する拠点施設の運営 ・「歩行」に着目した健康増進に関する調査 	○	○	○→	
II 世界への貢献 課題解決先進地として、超高齢化社会を乗り越えるモデルを世界に広げていくため、保健医療分野における研修受入・海外展開体制を確立することで、佐久市の発展にもつながる相互互恵的な関係の構築を図る。	③ 健康長寿ブランド国際展開（アウトバウンド）事業 研修受入、国際展開の体制の確立 研修受入、国際展開のプログラムの確立 海外発信対応 インバウンド対応	<ul style="list-style-type: none"> ・海外における健康長寿の研修受講、実践（展開）等のニーズに関する調査 ・研修における通訳人材、海外とのコーディネート人材の確保、育成 ・研修終了後の活用状況の把握と展開等に関する相談受付（フォローアップ）ができる体制の検討と構築 ・視察研修受入れ体制構築に係る負担金等 <ul style="list-style-type: none"> ・研修受入プログラムの検討、構築、見直し ・国際展開プログラムの検討、構築、見直し <ul style="list-style-type: none"> ・「健康長寿」を海外に紹介するための海外プロモーションの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・展開状況を踏まえた温泉、森林、健康食等の地域資源を活用したヘルスツーリズムなどのインバウンド（訪日外国人対応）事業の検討 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○→ ○→ ○→ ○→	
	④ 健康長寿関連産業活性化事業 ヘルスケア関連産業等の地域産業活性化のための支援機関の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康長寿」を生かした産業振興に関する調査及び計画策定 ・「健康長寿」を生かした産業振興についての検討会議の開催 ・「健康長寿」関連産業を始めとする地域産業に対する支援機関の確立 ・新たな産業推進体制確立のための人材確保 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○→ ○→		
III 経済成長への寄与 保健医療（ヘルスケア）関連産業を活性化するとともに、健康長寿を核としたまちづくりを進めることによって、健康長寿と経済の好循環を図る。	⑤ 健康長寿まちづくり事業 「健康長寿」を生かしたまちの活性化のための計画作成とまちづくり推進体制の確立 「生涯活躍のまち」の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康長寿」を生かしたまちの活性化に関する調査及び計画策定 ・「健康長寿」を生かしたまちづくりについての検討会議の開催 ・実施計画に基づくまちづくりに対する補助等 <ul style="list-style-type: none"> ・「健康長寿」を生かした移住促進（「生涯活躍のまち」づくり）の調査 ・「生涯活躍のまち」の住まいづくり等 	○ ○ ○	○ ○ ○→		

福祉・介護のつばさ事業 ~「アジア健康構想」に基づく外国人材還流の創出~

基本的な考え方	事業区分	事業内容	R1~
I 健康長寿社会の実現 これまで培ってきた地域住民の予防・健康意識を継続して未来につなげるよう、地域住民の予防・健康づくりに関する事業を実施することで、確立された「健康長寿ブランド」をもって海外市場における佐久市の福祉・介護産業の付加価値向上を図り、アジア全体での人材育成と産業振興の好循環の形成による「アジア健康構想」を目指す。	① 地域住民の行動変容の促進 地域住民の予防・健康づくりに関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座やイベントの実施 ・地域包括ケアシステムに基づく質の高い取組の国内外への発信 	<input type="radio"/> → <input type="radio"/> →
II 世界への貢献 「アジア健康構想」に基づき、東南アジア諸国での介護サービス提供を支える人材を育成するとともに、民間事業者の海外展開により帰国後の職場を創出する循環型の仕組みを整備することで、サービス産業の担い手確保や新たな市場の獲得を図る。	② 介護人材還流の創出 介護サービス提供に係る人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉・介護のつばさ事業連絡会議（仮称）の創設 ・外国人生活相談窓口の運営 ・外国語生活ガイドブックの作成 ・通勤環境の整備 ・異文化・受入れ制度に係る研修の実施 	<input type="radio"/> → <input type="radio"/> → <input type="radio"/> → <input type="radio"/> → <input type="radio"/> →
III 経済成長への関与 担い手の減少を補うためのICTの役割が高まる中、産学官連携によりシーズとニーズのマッチングを図り、地域包括ケアの様々なステージに要する新たな製品や技術を開発することで、ものづくり産業の収益力の向上を図る。	③ ものづくり分野における産業振興 新たな製品や技術の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・シーズとニーズのマッチングの場の創出 ・SOICと連携した事業展開 	<input type="radio"/> → <input type="radio"/> →